202３年7月第4週【7/2８発行】　高校生用教材 男女平等／日本とアイスランドの現状　　模解と指導の手引き

※8月の英語ニュースリリース日について

第1週　　　8/4(金)

第2週　　　8/18(金)

第3週　　　8/25(金)

第4週　　　8/31(木)

・・・この4回、教材をリリースさせていただきます。

8/11(金)のニュース教材の発行はありません。ご注意下さい。

この教材の使い方について

（１）教材はWordファイルでリリースします。不必要と思われる問題のカット（削除）、本文や設問のアレンジ、差し替え、加筆修正は自由です。先生方が授業で使いやすいように、お好きなように加工して下さい。

（２）「この問題は簡単すぎる」「設問は日本語でなく英語にしてほしい（逆に難しいから英語でなく日本語にしてほしい）」というご意見をいただきますが、全ての先生方の要望に応えられず申し訳ありません。私の判断で、英語が良いと思った設問は英語に、日本語が良いと思った設問は日本語にしています。先生方の判断で言語は自由に変えて下さい。

（３）毎回、スペリングや文法ミスがないか、細心の注意を払っていますが、間違いに気付いたら、後からホームページに訂正版を出しています。申し訳ありません。もしスペルミスや文法ミスに気付いたら、教えていただけましたら助かりますが、お時間がなければ修正してそのまま授業でお使い下さい。

（４）全ての教材に、「この英文を暗唱しよう！」というページがあります。毎回、重要な文法や使える表現を含むキーセンテンス３～５文を選んでいます。これは「夢タン」などの参考書の著者として著名な木村達哉先生のセミナーで「英語は何度も音読して暗唱するのが上達の近道！」と教えていただいたことにより、8月から始めました。文を暗唱してから本文を読んでも、全文を読んでから仕上げに英文暗唱しても、どちらでも良いと思います。生徒さんの習熟度と状況に合わせて、やってみて下さい。

教材執筆にあたって参考にした記事

<https://www.asahi.com/ajw/articles/14937882>

<https://mainichi.jp/english/articles/20230621/p2g/00m/0na/013000c>

<https://www.nippon.com/en/japan-data/h01713/#:~:text=The%20Global%20Gender%20Gap%20Report%20issued%20by%20the%20World%20Economic,116th%20ranking%20the%20previous%20year>.

<https://english.kyodonews.net/news/2023/06/b041fdee1839-japan-falls-to-record-low-125th-in-global-gender-gap-ranking.html>

<https://mainichi.jp/english/articles/20230307/p2a/00m/0na/022000c>

<https://www.asahi.com/ajw/articles/14626676>

<https://www.france24.com/en/tv-shows/reporters/20230106-does-iceland-live-up-to-its-reputation-as-a-paradise-for-gender-equality>

<https://icelandmag.is/article/1975-womens-strike-when-90-icelandic-women-went-strike-protest-gender-inequality>

<https://www.bbc.com/news/magazine-34602822>

<https://www.womenpoliticalleaders.org/why-is-iceland-the-world-s-global-leader-in-gender-equality/>

<https://kvenrettindafelag.is/en/resources/womens-day-off/>

<https://www.globalcitizen.org/es/content/7-iceland-feminist-law-women/>

<https://nikk.no/en/news/gender-quotas-for-diversity-in-leadership/>

<https://guidetoiceland.is/history-culture/gender-equality-in-iceland>

<https://english.hi.is/news/legacy_and_international_impact_of_the_1975_icelandic_womens_day_off>

１ページ　単語テスト

●単語テストからスタートします。QRコードから音声を聴いて、聞こえた単語を書き取って下さい。

●もちろん、音声を聴かないで、先生が教室で声に出して読んでくださった方がもっと良いと思います。

時間がなければ、この単語テストを生徒さんの宿題にして、家でやってきてもらうのも良いでしょう。

●点線のところで切り取って下さい。上半分はテスト。下半分はテスト後、生徒さんに配って答え合わせしてもらって下さい。

●単語テストとは、普通は、「プリントに英語が印刷されている→日本語で意味を書く」または、「プリントに日本語が印刷されている→英単語を書く」という形のものが多いと思います。この単語テストの形式は、「耳で聞き取った英単語の綴りを書き（Dictation）、なおかつ、その意味を書く」というもので、英語脳と日本語脳の両方を活性化することをねらったものです。英語ニュース教材「茅ヶ崎方式　英語会」の　単語テストを参考にしました。

2ページ

Q1 It is (called) the WEF, or the World Economic Forum.

Q2 昨年116位から今年は125位に落ち、東アジア太平洋地域でもG7でも最下位になった。

Q3　developed nations(countries), あるいは advance nations(countries)

※「先進国」の言い方に様々なバリエーションがあります。

Q4 (1)New Zealand (2) the Philippines　　　※ニュージーランドでは、今年１月まで女性のアーダーン首相がリーダーを務めていました。

Q5 education, health, politics, economy

Q6 国会議員と閣僚の中に女性が少ないこと。

（国会議員のうち女性の占める比率は10％、女性の大臣の比率は8.3%）

Q7　女性の労働力参加率　women’s participation in the workforce

Q8　女性の給料は男性に比べて22.5%低い（男性賃金の中央値を100とした場合、女性は22.5下の77.5にとどまる）

Q9　男女の収入を平等にし、企業の管理職により多くの女性達を昇進させようとする、日本政府の努力

Q10　131年

3ページ

Q1　1位 アイスランド　　2位 ノルウェー　　3位 フィンランド

Q2　The global gender gap score is.

※大変ショッキングですが、日本のジェンダーギャップ指数は、世界平均以下です。

Q3　Through collective action and solidarity.

※アイスランドも最初から男女平等の国だったわけではありません。女性たちが一致団結して戦い、男性と女性が協力しあってきたからこそ、今の男女平等社会が出来上がったことを、生徒さん達に知ってほしいと思います。

Q4　On this day, 25,000 women went on strike for one day. They refused to work, cook and look after children for a day.

Q5 世界初の女性大統領が民主的な方法で選ばれて誕生したこと。（本文にありますが、彼女は何と16年間も大統領の役職をつとめたのです）

Q6　47.6% are.

Q7 ジェンダークオータ制。「50人以上の従業員のいる私企業や公的な委員会では、取締役会の4割以上が女性でなければならない」と法律で定めていること。

4ページ

Q8　25人以上の従業員のいる会社で、同等の仕事をしている男性社員と女性社員に同じ額の給料を払うことを定めた法律

Q9　有給育児休暇はトータルで12ヶ月付与され、夫婦でその期間を平等に分けることができる。母親も父親も6ヶ月以上の育児休暇をとる権利があり、休暇期間中、給料の約8割を受け取ることができる。

Q10　Around 90% of all the fathers do. ※日本の父親の育休取得率は43.7％（2023年6月NHKニュースより）です。改善はしていますが、もっと多くの父親が育休を取得し、母親と父親が協力して育児をすることが期待されています。

参考ウェブページ

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230612/k10014096571000.html#:~:text=%E5%8E%BB%E5%B9%B41%E5%B9%B4%E9%96%93%E3%81%AE%E7%94%B7%E6%80%A7,%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E3%81%A7%E3%82%8F%E3%81%8B%E3%82%8A%E3%81%BE%E3%81%97%E3%81%9F%E3%80%82>

Q11 In preschool.

Q12 女性の方が学歴が高い。（大学進学率は、女性は41％、男性は30％）

Q13　（解答例）男女平等の実現は、「実現したら、誰かが得をし、残りの誰かが損をする」というものではない。男女平等により、あらゆる性別の人々が恩恵を受けることができる。ますますの男女平等が実現することにより、人々の幸福値が高まり、寿命が伸び、社会全体が恩恵を受ける。

Q14　（解答例）

✦Japan should also introduce a gender quota law.

✦The Japanese government should also make efforts to close the gender wage gap.

（偶然ですが、今回の中学生ニュースでも、“FIFA has set a target of equal prize money for the next Men’s World Cup and the next Women's World Cup in 2026 and 2027.”のセンテンスが出てきます。）

指導の手引

私のスクールの生徒さん達（小・中・高）に「日本が男尊女卑社会だと感じたことはありますか？」

と質問すると、たいてい「特にない」「男女平等です」という答えがかえってきます。

（逆に、学校では女子生徒のほうが先生に贔屓され、良い成績を付けられている、という話を良く聞きます）

若い世代は、そこまで男女不平等を感じていないのではないか？と思います

真の問題は、大人（社会人）になってから始まるのでしょう。日本には今でも「家事や育児は女性がやるもの」「女性は外に出て働かず、家にいるべき」という古い考えがあるようです。

先日も、このようなニュースがありました。

✦大炎上した妊婦向け「先輩パパの気持ち」文書　尾道市長が謝罪「多くの方々を不快な思いにさせた」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/78330844c03468150e90e9e0d3d74821734f294f#:~:text=%E5%B9%B3%E8%B0%B7%E5%B8%82%E9%95%B7%E3%81%AF%E3%80%8C%E3%81%93%E3%81%AE%E3%81%9F%E3%81%B3,%E3%81%97%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%8D%E3%81%A8%E8%A8%98%E3%81%97%E3%81%9F%E3%80%82>

アフガニスタンのように、女子が学校に行けない国と比べたら、日本の女性たちは遥かに恵まれていると思いますが、それでも、世界的な基準から比べると、まだまだ遅れているようです。

未来を担う若い人たちは、新しい価値観を持っています。彼らが広い世界を見て、日本をますます良い国に変えて行ってくれることを願いながら授業をしたいと思います。